

(公社)日本茶業中央会主催

施策・認証編

日本茶輸出セミナー

見逃視聴あり!

講座・講師一覧

第1回 12.8	第1部	日本政策金融公庫輸出支援の試み 【速報】 (公社)日本茶業中央会 令和5年度輸送試験及び包材規制制度調査	日本政策金融公庫 村田 佳子 日本茶業中央会(NX 総研(株)) 中嶋 理志(中嶋包装輸送技術コンサルティング) 細山田 優(NX 総研(株))
	第2部	世界の認証1ー認証とは何か?	BSI(英国規格協会)ジャパン(株)
第2回 12.15	第1部	日本茶の輸出と残留農薬に対する対応について	農林水産省農産局果樹・茶グループ 皿谷 俊祐
	第2部	世界の認証2ー基礎の認証と世界市場 HACCP/ISO22000/FSSC22000	BSI(英国規格協会)ジャパン(株)
第3回 12.22	第1部	農林水産物・食品 輸出支援プラットフォームの概要	農林水産省国際局 PF 担当 在外プラットフォーム担当
	第2部	世界の認証3ー個別認証の理解 GFSI 系認証と FSSC22000 の補足	BSI(英国規格協会)ジャパン(株)

対象：輸出に関心ある事業者・行政の方々すべて

日時：2023年12月8・15・22日13時30分～

(3回シリーズ講義+1月末まで録画視聴可能)

開催方式：オンラインライブ・録画視聴

事前登録先 URL：<https://event.event-planner.net/#/gzkfv5k7>

問合せ先：event-convention@tkp.jp

申込締切：ライブ視聴希望者 12月8日13時20分

録画視聴希望者 2023年12月31日

■講師略歴・講座紹介

12月8日

第1回 第1部 施策・調査速報 13:30～14:50

①《日本政策金融公庫の試み》

【内容】日本政策金融公庫では、輸出に関心がある事業者の皆様への御支援を行っております。ご融資だけでなく、輸出に関する情報のご提供やご相談、またトライアル輸出の支援等のプログラムがあり、今回はいくつかの事例をご紹介いたします。また今年の3月と7月には、生産者の方々、食品企業の方々を対象に、海外展開の状況に関する調査を行いました。これらについても合わせてご報告いたします。

【講師】村田佳子(日本政策金融公庫情報企画部海外展開支援グループ)

2016年入庫。2021年4月～22年9月にジェットロロサンゼルス出向。2022年10月より現職。

②《速報！日本茶業中央会令和5年度輸送試験・包材制度調査中間報告》

【内容】令和5年度、日本茶業中央会では昨年度の日本茶輸出促進協議会によるコロナ前後の輸送実態調査を参考に、実験室を使用した茶のコンテナ輸送シミュレーションを行っている。本年はリーフティに加え、繊細な品質管理を要する抹茶を実施し、成果の中間報告を行う。また近年各国の食品安全の分野で強化されている包材の規制について実施中の調査についても中間報告を行う。

【講師】

＜輸送調査＞中嶋理志(中嶋包装輸送技術コンサルティング)：2023年3月旧(株)NX総合研究所より独立。輸送モード毎の輸送振動と荷役衝撃及び温度、湿度の実態調査と包装に及ぼす影響・対策等包装試験と輸送技術に関するコンサル業務に一貫して従事。(公社)日本包装技術協会よりJISのZシリーズ(包装・物流)制定・改訂委員、ISO/TC122(ISO包装技術部門)国内対策委員を委嘱。

＜包材制度調査＞細山田優(NX総研株式会社)：NX総研(株)シニア・コンサルタント。通関士・国際物流技術管理士・国際複合輸送士。アパレル、食品、機械、電子部品等の実務経験を活かし、モーダルシフト推進支援、共同物流配送の実行支援等の国内物流コンサル及び海外物流事情調査、試験輸送支援、現地事業参入に向けたフィージビリティ調査、研究等を数多く担当。企業、大学等での講師講演活動も行う。

第2部 1～3回シリーズ講義＜英国規格協会【世界の認証】＞ 15:00～(各回30分程度)

【内容】世界的には多くの認証が存在する。しかし、実はこれらは、政府や地域機関が課す法律や規制ではなく、食品生産・消費の文化的背景を反映した自発的合意であり、地域や宗教等の多様性、つまり市場による偏りがある。また導入だけでなく維持コストも視野に入れる必要があり、導入に際しては自社が参入する市場や自社の体力に応じた取舍選択や戦略が必要である。今回はこの認証の本質に迫る理解と日本にとってなじみ深いHACCP、ISO等の関係、また国際的に重要性を増しているGFSIスキーム系の認証群について、平易かつ包括的な基礎知識の提供を行う。

第1回：食品認証とは何か？

第2回：基礎の認証と世界市場(HACCP/ISO22000/FSSC22000を中心に)

第3回：GFSI系認証の事例(SQF、BRCGS/Global G.A.P./IFS)およびFSSC22000の補足

【講師】：BSIグループジャパン株式会社(英国規格協会日本支社)

BSI(英国規格協会)は1901年に設立された英国王室憲章を持つ世界最古の国家規格協会であり、ISO及びCENの設立メンバーである。BSIが制定した多くの国家規格がISO化されただけでなく、現在も国際的認証機関、また認証関連の教育機関として活動を行っている。日本法人BSIグループジャパン株式会社は1990年に設立された。今回は昨年に続き、同機関が世界各国のBSIジャングループの協力を得て本講座のために制作した動画を放映する。

12月15日

第2回 第1部 13:30～14:30

《日本茶の輸出と残留農薬に対する対応について》

【内容】コロナ禍の経験や IT 社会の進展により、全世界的に健康な食生活や農産物・食品の安全性に対する関心が高まっています。様々な健康機能が報告されている茶は、輸出が着実に増加していますが、主要な輸出先の北米や欧州では茶生産がほとんど行われていないこと等により、農薬の残留基準が設定されていないケースも多く、輸出を志向する産地や輸出事業者は対応を求められています。こうした中、茶輸出の更なる拡大には、生産者、加工流通業者、輸出事業者、行政等の関係者において、農薬の安全確保の仕組みや残留基準値設定の考え方等についての正確な理解が重要であることから、これらの内容や国の取組についてお話しいたします。

【講師】皿谷俊祐(農林水産省農産局 果樹・茶グループ課長補佐 茶業班担当)

2008年に農林水産省入省。知的財産の保護・活用、農業の多面的機能発揮の取組推進、震災復興、貿易交渉、バイオマス活用推進、新潟県庁出向等を経て現職。

(第2部は BSI ジャパンによるシリーズ講座【世界の認証】の第2回をお届けします)

12月22日

第3回 第1部 13:30～14:30

《農林水産物・食品 輸出支援プラットフォームの概要》

【内容】

令和4年度より、政府は日本産農林水産物・食品の有望な輸出先国・地域において、在外公館、JETRO 海外事務所、JFOODO 海外駐在員を主な構成員とする輸出支援プラットフォームを設置し、輸出事業者を包括的・専門的・継続的に支援する枠組を構築しています。

今回は、まず、輸出支援プラットフォームの全体像として、現地展開する事業者や日本食レストラン等と協力し、レポートの作成やプロモーション推進、事業者支援や日本食の普及等を目指す事業の内容についてお話した後、シンガポール及び米国での取組について、現地の担当者から紹介します。

「輸出プラットフォームの概要」(農林水産省 HP)

<https://www.maff.go.jp/j/kokusai/kokkyo/attach/pdf/platform-214.pdf>

【講師】①農林水産省輸出・国際局農林水産物・食品輸出支援プラットフォーム担当

②輸出支援プラットフォーム担当者(ジェトロシンガポール事務所及びジェトロロサンゼルス事務所)

(第2部は BSI ジャパンによるシリーズ講座【世界の認証】の第3回をお届けします)

企画・実施：公益社団法人日本茶業中央会